

## 令和6年度第2回宇城市総合計画審議会

日時	令和6年10月11日（金）14:00～
場所	宇城市役所本館3階第2会議室
出席委員	井田委員、植田委員、柴田委員、今泉委員、高橋委員、百家委員、池田委員、濱崎委員
欠席委員	本間委員
事務局	元田市長政策部長、小野田企画課長、企画課企画統計係職員

### 【議事要旨】

#### （1）第2次宇城市総合計画（後期基本計画）の進捗管理（追加分）について

井田会長	宇城市の自主財源比率は何%か。
事務局	27%程度。
井田会長	質問等なければ前回分とあわせて進捗管理についての審議を終了する。

#### （2）（仮称）次期宇城市総合計画骨子案について

井田会長	<p>4ページの右側のグラフで、棒グラフが世帯数、折れ線が世帯当たりの人数ということで、古い言葉で言えば核家族化なので、世帯人員が少ないけれども世帯数は増えている。ということは、住居に対する需要は今のところ増えている。そうなったときに宇城市では、おそらく、単身世帯や2人世帯が求めるような住居の供給が十分あるのかというのがあるかと思うが、どうか。</p> <p>賃貸アパートみたいなものがある程度供給されているのか。グラフを見る限り、需要はあるわけで、それに対する供給は十分なのかということに対して、行政サイドはどのように考えているか。</p>
事務局	<p>それに対して、行政サイドで調査や分析をしたということはないが、感覚的な部分で言えば、新築アパートというのは建つとすぐに満室になるなどしているため、ニーズとしてはあると思う。一方で、築年数がある程度過ぎた賃貸アパートでは、空き室が目立つところもあるのかなといった印象もある。</p>
井田会長	<p>個人的な話だが、ちょうど3日前に卒業生から連絡が来て、去年千葉市にマンションを買ったそう。旦那さんは歯科医だが、上司から宇城市で仕事をしないかと言われて、来週一旦熊本にきて、仕事も暮らしもちゃんとできるかというのを現地に見に行きますということであった。そうした子育て世代、よく高齢化高齢化、あるいは生産年齢と言うが、年少人口がいれば大丈夫。年少人口がいれば、小学校中学校が維持できる。高校からは別に出ても良い。要は、年少人口がいるかどうかがこのからの自治体は大事だと思っていて、今年のゼミ生のコンペでは、その年少人口を増やすための移住定住、年少人口を目的とした移住政策というのをテーマとしてやらせている。そうしたらちょうど卒業生が、まだ2歳と0歳のお母さんで、今の仕事を続けるかやめて他の仕事を見つけるかみたいなことも、今ちょうどそういった、宇城市が大事にしたいような人。</p> <p>であれば、まず第一歩として、住まいが無いと、結局他所に行っちゃうので、そういった関連で聞いてみた。</p>
委員	<p>三角の場合、今度高規格道路が通るので、私の住んでいる際崎というところで40軒以上なくなる。際崎区に住みたいけど住めない、家もないし、買う場所、まず土地がない。高齢化されているので、子どものところにも行きたいけれどもなかなかそうはいかないということで、とにかく皆さん悩んでおられる。私はその際崎に住んでいて、あの部落がすべてなくなるんだと思うとすごく悲しくなる。</p> <p>高規格道路ができてメリットはあるだろうが、そこに住んでいる人たち、特に三角の場合は人が少なくなってきたのに、ますます拍車をかけているような政策だったので、どうかできないんですかと言っても、国が言い出したからと言われて。</p> <p>住めばいいところなんだけど、逆に他所から三角で家を求めようとしたらやっぱり同じように土地も建物もないというような感じなので、何かいい企画が出てくるならばいいなと思っている。</p> <p>1つのまちがなくなっていくような感じにもなるので、そういったことも含めて市役所の力を貸していただければと思う。</p> <p>息子が済生会みすみで働いているが、熊本市から通っている。せっかく済生会みすみには若いスタッフもいっぱいいて、宇城から、不知火とかから通っている人もいっぱいいて、頑張っているのに、やはりどこかを核としたまちづくり、例えば済生会みすみを核としたまちづくりというようなものできないのかなと思っているところ。</p> <p>もう一回三角町を考えていただきたい、それを言いたかった。ひと町だけ取り残されているような気がしている。</p>

事務局	<p>大きな問題ではある。土木の方からも、国の高規格道路の進捗を聞いているが、近々近隣の方や、土地をお持ちの方に相談に伺う予定と聞いている。たしかに、まちがなくなるというのは寂しいものであるが、まちをつくるという意味では、ひとつのチャンスなのかなと思っている。</p> <p>まちの作り方として、病院があって、買い物ができるという場所を中心に、コンパクトにまとめていくというような、色々な公共施設なんかを集約ができるという風に思う。個人の財産であるため、私たちが支援や口を挟むというのなかなか難しいところもあるが、まちづくりという視点からはサポートできる部分もあるかと思う。</p>
井田会長	<p>合併市町村というのはどうしても、旧行政区に縛られている。なので、宇城市としての拠点を3つ4つ作って、旧町村毎というのをやめて宇城市としてのここに拠点をという形にする。そして、それぞれの拠点到ゾーンングというものを、ここは例えば文化を中心とした拠点ですとか。</p> <p>三角であればインターもできますよね、それに接続するような形で拠点整備すれば、多分そこに集まるのでコンパクトになると思う。その方が新たなまちづくりとして別途やるより、極端に財政負担がかかるなんてことはあまり考えられないので、いち早くそういったものができることを前提として、ちょうど次期計画ですから、宇城市全体の中での拠点を一つ一つつくって、それによって整備していくのを早く打ち出した方が良いのかなと思う。</p> <p>旧町村でひとつずつやるときりが無い。そうしたら全くコンパクトにならないので、何かそれぞれの、三角は宇城の中でもこの分野で比較優位を持っている、この地区はこの分野で比較優位を持っているというゾーンングでの拠点づくり、防災等も含めて。</p> <p>そういったものも含めて何か一つの、宇城市のどこにいてもそんなに住民の方が不満を持たないような、若干の不平等はどの町でもありますので、極端にあの地域だけがとならないようなまちづくり、そういった方向性を示すのがまさに総合計画だと思っているので、宇城市全体として、そうした埋没地域をつくらないというような形で次期計画には、ちょっと入れられれば良いのではないかな。</p> <p>高規格道路ができるとずいぶん様変わりすると思う。まだできていないのでみんな実感していないが、できると相当違うと思う。</p>
委員	<p>今の関連でだが、高規格道路のインターは地元の住民の声を聴いていただいて、沢山インターができるような形になっていると言った方が近い。今、天草に行く天城橋の入り口のところがハーフインターになって、委員がおっしゃった三角支所のところは、今度は熊本との出入りのハーフインターになる。それで三角中学校のところがフルのインターが出来るのもう1箇所、郡浦地区というところになる。出来るということで、近いところにつくりすぎなのではないかと。これはもう地域の要望を全部聞いてもらった中でのことなので、その要望を出した側の方の立場からすると何とも言い難いところだが、もう少し調整できたのではないかな。際崎地区の話も、そこにインターがなければ、道路を通すだけならば、そこに掛かる家はもっと少ないはずで、計画段階でももう少し間隔を調整できたかなという、ただこれはもう国が動いているので国が進めているのは絶対というように私も聞いているので、変更できないんだろうという風に思っているところだが、ちょっと国道までの取り付け道路が心配である。</p> <p>もう一つは、今の高規格道路の中では、道路の中にサービスエリアとかトイレが無い。やり方としては、これを出入口のところに道の駅を作ってそこを活用しようというのがこの地域もそういう形でされていると思う。これも三角の議員さんが話を持ちかけているところがあるが、ぜひその中で、ただそっちに力を入れると駅前物産館などをどうするのかとなるとこれも困るので、どうするかというのは地元に住んでいる者から考えても、ちょっと頭が痛いところではあるが、でも自動車道路のパーキング、トイレの考え方からすると、出入口のところに作って降りてもらって、その産品を買ってもらおうというのが、どこの町もそういう流れになっているので、ぜひ高規格道路を活かした物産館、道の駅についても考えていただきたい。</p>
委員	<p>海に近い方に上る道ができるので、魚を直売するところとか、三角の特産品を売るところとかがあるとわざわざ寄って行かれる。そういうのが出来ればまた賑わってくるのかなと思うので、その辺りも含めてしていただければ。</p> <p>そうしたら人口が減っても、古氷など違う地区の方に土地を求めていくことになるかなと思うが、元々一番は三角、際崎が誇りだったので、そこが寂れてくるというのがすごく寂しいなというところで、時代もありますししょうがないかなとは思いますが、大事なことではないかなと思って話をした。</p>
事務局	<p>議員さんからも、過疎計画、これをしっかり総合計画上で謳ってもらって、具体的な過疎の問題については過疎計画の中で実行していくという流れを求められたということもあったので、その過疎についての考え方は総合計画の中に盛り込んでいくという風に考えている。</p>
井田会長	<p>確かに高規格道路に繋がる道路についても、もうわかっている。なので早めに、そこは絶対車は来る、降りるので、栄えるファクターは持っている。かつ、三角駅はJRが観光列車を走らせているので、多分JRがA列車をやめたら廃れると考えられている、JRはシビアで的を得たことしかしていないので。だから、A列車がある限り、JRが観光で売れると踏んでいるので、そういう意味では、逆に言えば2本柱で三角エリアの観光であったり、生活や暮らしを考えることができるのかなと思う。三角駅周辺のエリアを中心に集約させる、そのエリアで何か新しいことを考えている方には、そこに協力しませんか位の形で集約を働きかけるようなことをすれば、エリアごとのコンパクト化というのが図れるのではないかなと思う。</p>

委員	<p>私は豊野に住んでいるが、今までの話を聞いていて、一番取り残されているのは豊野町なのかなと思っています。三角は色々な話が出ていたが、話題が豊富で、集客力というか、他のところから観光とかで見えられる施設などいっぱいある。豊野に限って言いますと、アグリパーク位しか無い。あそこは割と他町から買い物に来られる方がいるが、それ以外で人を集める場所というか、そういうのが全くありませんで、考えてみても出てこない。そういった面から言うと、東の端の方が今のところ何も話題がないかなというところで、何がいいかなというのはちょっとピンとこないが、やはり東の端にもそういった施設のものが出来てくれないかなと思っています。5町のうち4町にはそれぞれ目玉になるような施設があるが、豊野方面は全くなくて、人口もどんどん減ってきている。そういったことを食い止めるためにも何か目玉になるようなものができたらなということで、ご検討いただければと思う。</p>
委員	<p>畑があるからという理由で移ってこられる方が増えているというのを聞いたことがあるが、その辺はどうなのか。</p>
委員	<p>豊野の場合、ほとんど農振が被っていて、転用が必要になるので、他から来て住居とか建てようとしても建てられないとか色々な制約がある。制約の中でも道路沿いとかそういったところを思い切って農振を外すとかできればいいのかなとも思うが、そういうところこそ農地として重用されているのが多いので、なかなか難しいのかなとも思う。</p>
井田会長	<p>資料3ページに土地利用の割合があるが、宅地が10%未満。果たしてこの割合が、市として適正なのかということ。農振がかかっている、それは優良農地を大事にしろということなので、この割合で宅地が10%を切っているというのは、やはり民間の賃貸住宅供給は十分なのかと。そんなに大きい高層マンション的なものがあるわけではないと思うので、そうすると需要と供給のバランスがとれているのかなと。ずいぶん前から別の会議でも、戸建ての物件はチラシを出す前に売り切れて、土地に対する需要はあるんだけど、供給が無いという話が10年以上前からあった。農振を外すというのは、市がどうこうできるものではないので、そこは県にお願いするしかないということでもなかなか難しくハードルが高いというのも承知しているが、宇城市全体としてどういう風なまちづくりをするのかというのを、そろそろゾーニングなどして、やはり東西長いので、全体としてどう考えるかというのが必要かと思う。</p>
委員	<p>今までの意見とほぼ一緒だが、やはり会長が言われたようなゾーニングであったり、地域の特色を活かしたまちづくりや目標などは示した方が分かりやすいし、良いのかなと思う。それは土地利用構想とか個別の下の構想でやっていくのかなとも思うが、今考えたときに、この8年間の計画の中でダイナミックに何が一番変わるかというのを考えたら、やはりTSMCというのが出てくる。その中で、企業誘致とかあるが、やはり宇城地域というのは人なのだろうと僕は思っている。企業も来るだろうと思っている。特に、先日発表された八代工業団地、あそこが動けば人も動くと思うし、そういったここ数年、8年に拘わらず5年くらいでダイナミックに動いていくことを見据えた絵面というのをしっかりと描いて、ゾーニングであったり、人の動きをどうするかということをも落とし込むことも必要かと思う。</p> <p>移住定住というのを、今まで宇城は空き家バンクとかそういうものに力を入れられてきたと思うが、多分そこではとどまらない人の流れというのが出てくると思う。高規格道路、工業団地の話もあるし、TSMC、菊陽周辺の土地は多分家もだんだん建てられなくなって、家賃も高くなって、きっと周辺部に出てくる。そういった方々を取り込んで、この宇城市が持続していくための若い力、生産年齢の若いところ、子どもを産むといってもすぐにはできないので、若い力を取り込んで、その方々に根付いていただいて宇城市を盛り上げていただく、それぞれ旧町の中で特徴をつくりながら、住んでいただけるような絵面というか取組が、エッセンスでも見ると良いのかなと。評論家的な意見で申し訳ないのだが、ちょっとその辺が、全体的な構想なので、大きな話で要素は大体書き込まれているが、宇城市がこの先4、5年後見据えたときに、大事どころかなと思うので、その辺りを明確に見せられると他の地域にいる若者とかが住んでみようというきっかけになるのかなと思ったので、発言した。</p>

井田会長	<p>計画で、やはり人を呼ぶということを前面に出した方が良いのかなという気がしている。直近のニュースでも、TSMC第1工場が本格稼働する、それで第2工場が建設中、第3工場がどこになるかわからないが、恐らく近くにつくるだろう。それに関連する事業もどんどんくる。益城にも企業誘致はやめて、住まいをいっぱい作れと言った、従業員を全部寄せてこいと。その代わり道路整備を県と一緒にやればいいと。</p> <p>昔から言っているが、宇城市は高速道路のインターもあるし、JRがある。これが何よりも強い。JR周辺をもっと有効に使って欲しい。どうも熊本というのは駅の使い方が下手で、駅が栄えない。やはり駅周辺が栄えないと、降りたときにん？と一瞬止まっちゃう。そうした駅周辺の整備、そこでTSMC絡みの人が振り向くような、ちょっと遠いけど、宇城って知らないような人、まあ宇城は知名度が低いので、だけど宇城ってよく見たらそんなに遠くない、通勤圏にあるという風になってくれれば、ひょっとしたら年少人口を持つ人が居住しやす可能性が高いので、その準備をしないといけない。</p> <p>今までの日本の移住政策は、移住した人が行って、地域になじめと言う。あれは壁が高い。そうではなくて、移住者が何軒か集まる移住ビレッジをつくって、そして地元の人と交流ができるようにしてあげれば、徐々に交流ができるのではないかという発想しないと。そこは行政が全部やるのは金がないから、行政は土地を無償で貸し出して、あとは民間にやってもらう。そういう行政が描くイメージに手を挙げてくれるところがあれば、あとはプロポーザルで選ばないといけない。</p> <p>そういう形で拠点づくり、例えば農業しながら暮らしたい人がいれば豊野あたりにそうした移住ビレッジをつくる、というように特色をもった形で人を呼ぶということを前面に何か。せっかく県の方もアドバイスをいただいているのだから、それだけやはり、いつも言っているが宇城市という名前がなかなか浸透していないところを浸透させるために、人を呼ぶって前面に書いて出しても、他所が先にそれをしだして人が他所に行っちゃうと、後から来る人は多分、前を見ちゃうので違うところには来ない。そうすると吸収されちゃうので、早めにやるというのが大事だと思う。</p> <p>せっかく陸の交通結節点もいっぱいあるし、海の港もあるし、色々な結節点があるので、もったいないかなという気はしている。</p>
委員	<p>TSMCの話からすると、熊本は水があって土地もあって、という話がある中で、半導体の関連企業がたくさんあってという話を聞いたことがある。もちろんあそこの近くにソニーも富士フィルムも東京エレクトロンもあってということだが、県内にたくさんあると。その中で宇城市にも関連企業というか、半導体の関連企業があるという風にリストを見たことがある。そういったところが設備を増設されるとか、生産量を増やされるとか言って言ったときの協力というか、何かそういったことが雇用に繋がるのではないかと考えてるので、さっきのゾーニングの中の一つのアイデアじゃないかなと思うが、TSMC絡みでやっぱり大きく、先ほど言われた住まいを宇城市にどうですかという考え方ももちろんあるが、関連企業の大きくなっていくところにはちょっと目を向けた方がいいのかなという風に思う。</p> <p>もう一つは、農業委員会もいらっしゃるが、私が農業委員の時に話があったのが、農地付き住宅を買いたい、畑がちょっとあるところを買いきたいということ。農地がやはり普通の人を買えないという、何反以上とかあって。</p>
委員	今は買えるようになった。
委員	<p>買えるということであれば、もうそれで前向きにいくと思うが、そういうニーズが三角とか豊野には多分あると思う。</p> <p>本来は、元々のあり方からすれば、子育て世代を誘致しようというのが元々の大きな課題でしたけど、ゾーニングというところからすれば、三角とか、もしかしたらそうやってリタイアされた方が畑付きの住宅を買いきたいというニーズが以前もあったというのを、数が多かったかどうかは分からないが、住は出るところだったので、そういったところの特区みたいな形にして、ルールを緩めてもらってというのがゾーニングの中でできると面白いのかなという風に思う。</p>
井田会長	<p>色々、法やルールが変わる。けれども、それをほとんど一般の人は知らない。知らないし、国や県、市のホームページをずっと見れば、慣れている人は分かるだろうが、普通の人や行政のホームページを見に行ったらあんなに扱いづらいページはない。</p> <p>だからもう少し、やっぱりそうした色々な情報、昔はできなかったけど今こういうことでできますよっていうのを、単に空き家バンクとかじゃなくて、宇城市の空き家バンクは利便性の高いバンクですよという形を何かつけてアピールした方が、単に空き家バンクを持っていますよ、相談窓口持っていますよと言ってもどの自治体だって持っている。そうすると宇城市のそうした移住政策や空き家バンク、移住政策が抜きん出ているとは感じられない、周りの人からすると。だから宇城に来なさいいけないってなっても、わからないから僕に連絡してきて先生何か知っているでしょって。本来であれば、東京に住んでいる人がネットを見れば、そういうことがわかって、ああこの辺宅地があるんだとかそういう形で、ちゃんとそういう意味での情報発信、多分市はしていると思うけれども、やっぱり届かない、届いていないという話。</p> <p>届いていないので、やはり付加価値のついた空き家バンク情報、移住定住情報を発信しないと、全国どこでもほぼやっているの。</p>
委員	委員が農業委員をされていた時はまだそういう風な決まりがあった。それが今年の4月から変わって、結構それを利用して、農地がついた宅地を買われるということが増えている。

井田会長	だからそういう情報というのは、知っている人はいち早く、抜け駆けじゃないですけどやっちゃって、そういうことをしようと思っている人はどこに情報があるのかルートがわからないので、その辺をもうちょっとひと工夫して、空き家バンクにしても移住政策の窓口にしても、ただホームページがありますではなくて、多分トップページのところにリンク先だけあってリンク先はクリックしないので。
井田会長	資料にある上下水道であったり、公共施設の耐用年数であったりとか、つまり、市内の公共インフラを維持管理する、例えば5年後にはいくらかかりますとか、そういうのを時系列で市のホームページなどで市民に知らせる必要があると思う。単に耐用年数がこうですではなくて、例えば2030年まで今の状態の公共インフラを維持するためには何億円かかります、年平均いくらです。それは本当に維持しなければならないインフラなのかという形で、データとしては出ているが、費用面が出ていない。公共施設は長寿命化計画で長寿命化するかしらないかの判断になるが、長寿命化するためにはお金が莫大にかかる。だからその辺をやはり市民には、どれだけかかるということを示す必要があると思う。今の上下水道ですら、このまま維持していくのであれば、いつまで、この何年間でいくらかかるとか、せつかく中長期計画をつくるのだから、中長期計画の歳出の部分、市の負担分で仮に今の市の人口で割ったら1人年間いくらの負担になりますとか、そういう形でちゃんと示した方が良いのかなという気がする。 資料にあるのは供給サイドの話だけなので、これだけインフラありますよと。それをどこで示すかというのは別の話で、もちろん総合計画で示す必要はないが、行政コストがかかる時代にもう既に突入していますよというのを自覚していただかないと、そうした自覚した住民がいる地域とない地域ではかなり、これから10年20年で差がつくのかなという感覚でして、そういったのも折に触れて市政だよりで年1回出して、1人年間いくらの負担をしてもらいましたみたいな情報を提供するのもありなのかなとも思う。
委員	中身についてはではないが、スケジュールを確認したい。先ほど市長も次の市長の計画と言われていたが、議会で諮られるのは3月の予定ということか。 将来都市像や基本目標とのずれが出てくるのかなと思ひまして。
事務局	議会議決案件ではないが、議会への説明は3月にする予定で、2月中にある程度内容を固めていって、パブリックコメントをしたいと考えている。総合計画が決まった後に、一応新しい市長の考えは、まち・ひと・しごとの総合戦略の方に公約であったり政策であったりを入れ込んでいくという風に考えている。 会長が先ほど言われたように、総合計画は基本市長が誰であろうと変わらないが、ある程度カラー的なものは出す必要があるのかなとも思うので、一応そこを踏まえたスケジュールで考えている。
井田会長	総合計画と総合戦略は若干違うので。 また、委員の皆さんにはそういったスケジュールの部分でちょっともどかしいところもあるかもしれないが、一旦議会を通すとなかなか変更するのが難しいので。
井田会長	計画には関係ないが、例えば市民が色々負担する手数料や上下水道料金などの使用料について変更するスケジュールとかはあるか。
事務局	今までは、消費税が上がるタイミングでしか見直しをしていなかったが、今度の4月に水道、下水道の料金を上げる。なかなかタイミングが難しいところもある。熊本地震の後に防災拠点センターをつくったとき、ある程度部屋の仕様や使う利用料というのを統一化しようということで、一旦整理はした。電気料金も上がってきたということで、エアコンの使用料も受益者負担ということで見直しをしている。節目節目で見直しはしているが、何年毎とか何年サイクルでというのはしていない状況。
井田会長	そういった使用料は、定期的に見直しをしていった方が良いと思う。上下水道料金も含めて。 住民負担はたしかに行政サイドからは言いづらいことかもしれないが、あまりにも、条例をつくってそのまま使用料を一切変更していない自治体がほとんど。当初の使用料の積算根拠がほぼほぼ不明、元の資料がないから今の担当者はなんでこの使用料なのかかわからない。 その辺もきちんとしていかないと、なんでもかんでも細かく計算する必要はないが、どんぶり勘定はよろしくないもので、そういった部分も含めて、施設使用料は色々なところにかかるので、そこも考えていただければと思う。